

奈良21世紀フォーラム

2005年会報第2号

(2005年5月31日発行)

平成17年度通常総会開催

今年の通常総会の会場は奈良町の元興寺で、当日5月14日は好天に恵まれ境内を散策するには絶好の日和となった。



(元興寺の21世紀フォーラム総会受付風景)

総会は国宝である僧坊(禅室)で行なわれ、議案は滞りなく承認され終了しました。総会に先立って、石橋理事長が春の叙勲で旭日重光章を受けられたことに当フォーラムよりささやかなお祝いをさし上げました。



(国宝 禅室での総会風景)

また、これまで当フォーラムの事務方を献身的に手伝っていただいたお二人の女性に記念品を贈呈しました。

総会后、この会場を快くお貸しいただいた元興寺の 辻村泰善住職の講話を拝聴しました。

お話では、世界遺産になって観光客が増えたようだ。

仏教の「極楽とはどんなところか」「誰も行ったことがないから知らないのだが、夢に出てくる」という話から、元興寺の僧智光が、夢で礼光に出会い礼光の語る極楽浄土の世界を、目覚めて情景を細かく描かせたのが、有名な「智光曼荼羅」であると、10世紀末くらいから浄土信仰が盛んになり、元興寺の智光曼荼羅も庶民の信仰を集めたとのことである。

確かに境内を歩いてみると、大変親しみやすいお寺でした。



(お話される辻村住職)

「暮らしと環境フェスティバル」に参加

4月2日・3日に奈良県文化会館で開催された「暮らしと環境フェスティバル」に「森と水の源流館」(奈良県川上村)と共同でブース展示を行い、個人の環境を守る意識向上の運動に参加した。



このフェスティバルでは、①環境に優しく、暮らしを豊かにする取り組みや具体的な商品を紹介する企業・団体・行政の展示コーナー、②エネルギー体感会場、③リサイクル料理講演会、④自然素材のからくりおもちゃ体験⑤浜村淳さんほかのエコライフトークなどのイベントが行なわれ、両日で7千人が来場しにぎわった。

奈良県川上村が「循環・共生・参加まちづくり表彰」(環境大臣賞)に選ばれた

当フォーラムが支援・協力している「水源地の森」保全活動(川上村)が大きく評価され、平成16年度全国で10団体が、環境の恵み豊かな「持続可能な地域づくり」に取り組み顕著な実績を上げているとして、環境大臣賞を受賞しました。

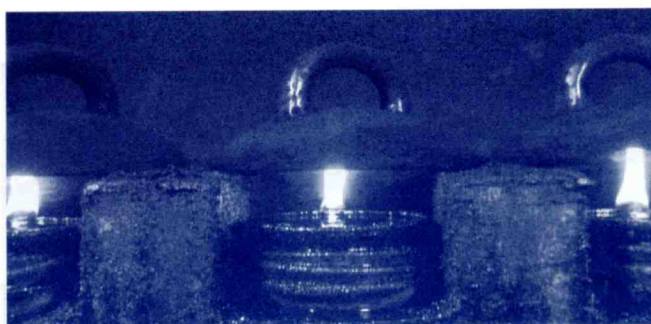
奈良県に残る伝統行事や伝統産業をデジタルアーカイブ(デジタル記録)として残す作業がいよいよ本格化しました

昨年、(財)デジタルコンテンツ協会の「後世に残すべき優れた製造・加工技術や伝統技術に裏付けられた現代の職人技等を高精細デジタル映像にて記録・保存」事業に「奈良の墨づくり」をテーマに応募、見事選ばれました。

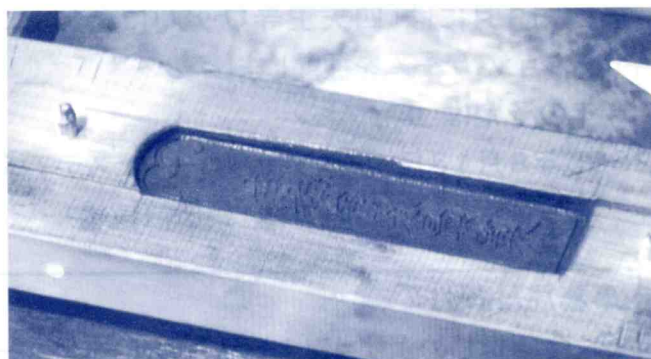
「究極の墨の色を求めて」

～古都・奈良の墨づくり～

あなたは墨がどのようにして作られるか知っていましたか？ 菜種油などを燃やし、「すす」を集め、それを「にかわ」とまぜて固めるのです。



(「すす」を集める)



(木型に入れて墨の形にする)



(つるして自然乾燥させる)

墨ができる工程を33分間のハイビジョン映像にまとめてデジタルコンテンツ協会へ収めました。製作工程で機械が使われているのは、「すす」と「にかわ」を混ぜ合わせる工程だけで、その他の工程は、職人の技と昔ながらの道具を使ったものばかりです。

普及版を作って会員の皆様には実費でお分けしたいと考えています。

